

クリフストーン1型・2型〈現場張り仕様〉

施工説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず施工説明書をお読み下さい。
- 裏表紙の「注意事項とお願い」を必ずお守りください。お守り頂かないとケガや破損の原因となります。

■梱包明細書

①割石セット〈1型〉(色: グレー・ブラウン)

名	称(割石No.)	員 数
A セ ッ ト	H-1	2
	H-2	1
	H-3	1
	H-4	2
	H-5	1
	H-6	2
	H-7	2
	H-8	1
	H-9	1
	H-10	2
	H-11	1
	割石補修材	1
B セ ッ ト	H-1	1
	H-2	3
	H-3	5
	H-4	2
	H-5	2
	H-6	2
	H-8	2
	H-9	1

②割石セット〈2型〉(色: グレー・ブラウン)

名	称(割石No.)	員 数
A セ ッ ト	K-1	1
	K-2	1
	K-3	1
	K-4	1
	K-5	1
	K-6	1
	K-7	1
	K-8	1
	K-9	1
	K-10	1
	K-11	1
	K-12	1
	K-13	1
	K-14	1
	割石補修材	1

③割石セット〈2型〉つづき

名	称(割石No.)	員 数
B セ ッ ト	K-15	1
	K-16	1
	K-17	1
	K-18	1
	K-19	1
	K-20	1
	K-21	1
	K-22	1
	K-23	1
	K-24	1
	K-25	1
	K-26	1
	K-27	1

④圧着モルタルセット(1セットにつき2㎡分)

名	称	員 数
圧着モルタル 8kg×2袋		1

⑤目地モルタル(1セットにつき0.5㎡分)

名	称	員 数
目地モルタル 5kg		1

⑥下地調整材セット(1セットにつき10㎡分)

名	称	員 数
下地調整材 1ℓ入		1

⑦はつ水剤(1セットにつき2㎡分)

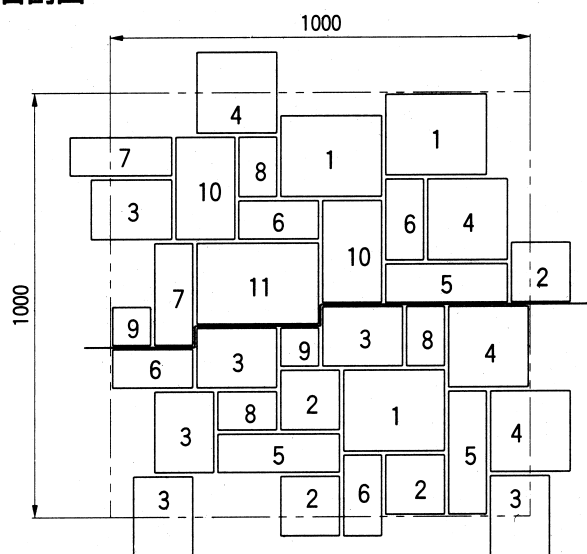
名	称	員 数
はつ水剤 1ℓ入		1

⑧目地施工キット

名	称	員 数
目地バッグ		1
口金		1
ヘラ		1
ブラシ		1

1. 石割図

1-1 1型石割図



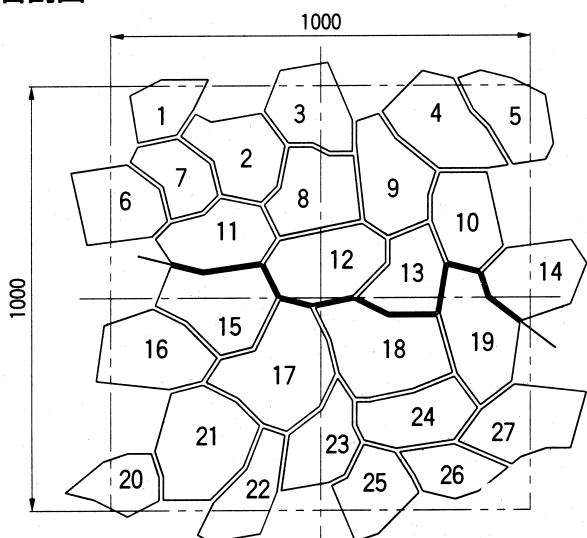
1Aセット

1Bセット

<注 意>

- 割石番号の前にHが付きます。
(例) H-1, H-2, ...

1-2 2型石割図



2Aセット

2Bセット

<注 意>

- 割石番号の前にKが付きます。
(例) K-1, K-2, ...

2. 下地調整

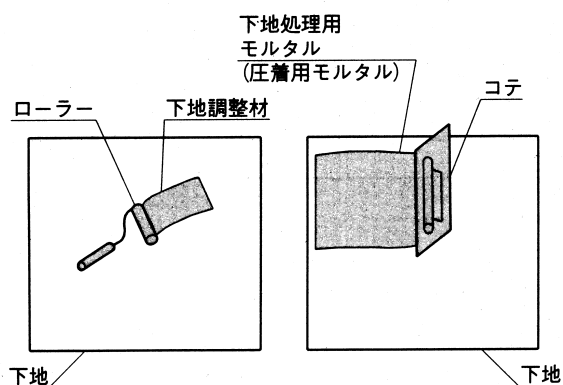


図1

図2

<注 意>

- 張付け可能な下地は、「コンクリート下地」、「コンクリートブロック下地」、「ラスモルタル下地」(ラスコート商品を含む)に限定してください。
- ① 割石を張付ける下地表面の、油・ゴミおよび離型剤などを完全に除去し、水洗いをして下地表面を整えてください。
- ② 下地調整材を清水で3倍に希釈し、ローラーなどを使い、下地表面に塗布してください。(図1参照)

<注 意>

- 下地に下地調整材を塗布したあと、表面が乾燥しない内に圧着用モルタルを塗布し、割石を張付けてください。
- ③ 下地表面に極端な凹凸がある場合は、不陸調整を行なってください。圧着モルタル：清水を5kg：1ℓの割合で練り混ぜ、下地表面に2～5mm塗布し、張付け面をこてなどでならしてください。(図2参照)

3. 割石の張付け

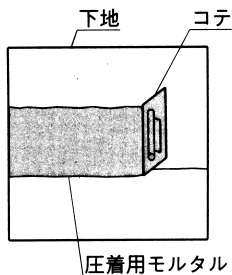


図3

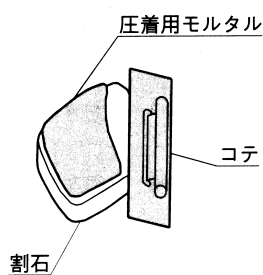


図4

- ① 圧着モルタル：清水を5kg：1ℓの割合で練り混ぜてください。
- ② 割石の張付けは、改良圧着張り工法で施工してください。圧着モルタルを下地に押さえつけるように、こて圧をかけてしごき塗りを行ない、2度塗りで約4mm厚に塗り付けてください。(図3参照) また、割石の張付け面にも圧着モルタルを約3mm厚に塗布してください。(図4参照)
- ③ 割石を十分な圧力をかけ、下地に張付けてください。(図5参照)
この時、割石と割石の間隔(目地巾)が約10mmになるように張付けてください。(図6参照)

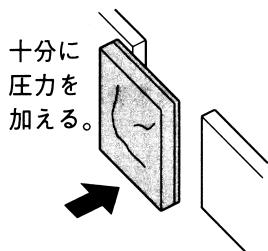


図5

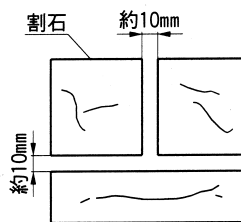


図6

<注 意>

- 圧着モルタルの1回の練り量は、1時間以内に使い切る量としてください。
- 1回の塗り付け面積は2㎡以内とし、気象条件などによって適宜小さくしてください。また、圧着モルタルの表面が皮張りしたら、かき落として新しく塗り付けてください。オープнтаイムの判断は、塗り付けた圧着モルタルの表面が指先によくくっつくことが絶対条件です。
- 張付け作業を行なう際は、保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスクなど)を着用し、目、皮膚、および衣類に触れないようにしてください。万一付着した場合、速やかに清浄な水または温水で洗浄してください。また、状況に応じて、医師の診断を受けてください。
- ④ 張付け下地の端部では、割石を切断して納めてください。張付けする場所にあて、下地の端から約5mm内側の所をけがき、(図7参照)ハンドグラインダーなどで切断してください。(図8参照)切断した面は割石補修材を水で6倍に薄めた物を塗り、仕上げてください。

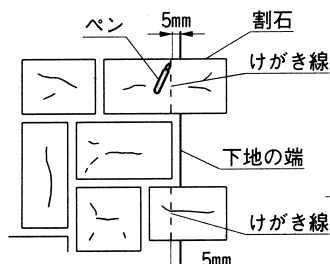


図7

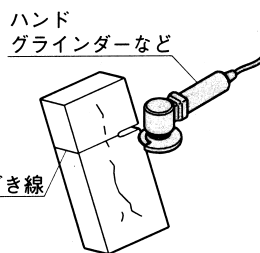


図8

4. 目地埋め

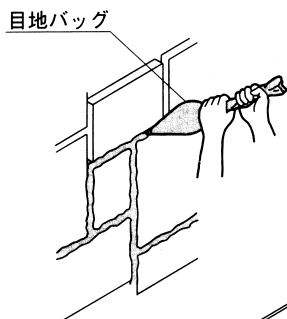


図9

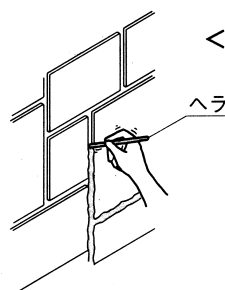


図10

<注 意>

- ① 目地モルタル：清水を5kg：1ℓの割合で練り混ぜてください。
- 目地モルタルに清水を加える際、少量ずつ水を加えて行き、硬めに仕上がるように水分を調整してください。水分が多い場合には、乾燥中(特に夏期)にクラックが入りやすくなりますので、季節や天候により適宜水分を調整するようにしてください。
- ② 目地バッグに口金を入れ、中に目地モルタルをつめてください。
- ③ 割石と割石の間(目地)に目地バッグを用いて目地モルタルを充填してください。(図9参照)
- ④ 目地モルタルが指に付かなくなる程度硬化させ、ヘラや目地コテなどを用い、押し付けるように目地をならしてください。(図10参照)
- ⑤ 付属のブラシで目地にそうようにブラシをかけて仕上げてください。(図11参照)

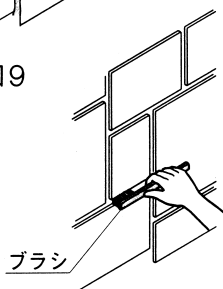
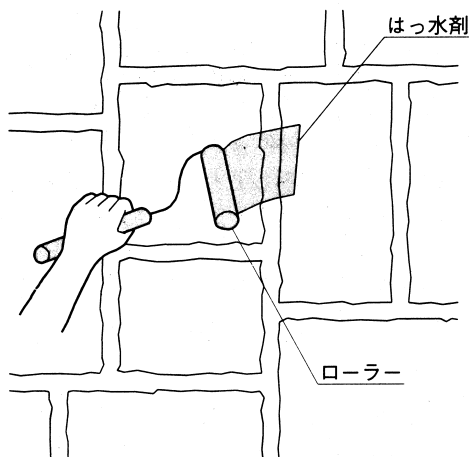


図11

5. はっ水剤の塗布



- ① 表面が汚れや土ボコリがひどい場合には、処理前にデッキブラシで軽く水洗いしてください。
- ② 表面が十分に乾燥していることを確認し、はっ水剤を原液のまま、ローラーやエアースプレーなどでむらの無いように塗布してください。
- ③ 1時間自然乾燥させたあと、もう一度はっ水剤を塗布してください。

<注意>

- 作業中はマスク、ゴム手袋を着用してください。

6. 注意事項とお願い

- クリフストーン1・2型（現場張り仕様）の割石は、壁面（垂直面）張付け専用です。床材としての施工、および人や車などが上に乗るような場所への使用は避けてください。
- 割石の主成分がセメント系であるため割石の内部および目地部分からカルシウム分が水分により溶け出し、表面に白いシミ（白華現象）が出ることがあります。ナイロンブラシなどで白い部分を落とし、さらに弱酸性洗剤で拭き取っていただければ簡単に落とすことができます。
- 割石の張付けおよび目地埋めは、気温5℃以上の所で行なってください。また張付け後の養生期間は通常1週間、冬期には2週間以上とってください。
- 割石の張付けは必ず改良圧着張り工法で施工してください。また、通風や直射日光による張付け面や目地の急激な乾燥をふせぐため、シート掛けなどの養生を行なってください。
- モルタルを混練する場合の水は、水道水などの清水を使用してください。
- 圧着モルタルおよび目地モルタルは既調合品です。他の材料との混合は避けてください。
- 壁面張付けの高さは、G.L.から2mまでとってください。また、開口部など下を人や車などが通過する場所への施工は避けてください。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、施工説明書は施主様にお渡し下さい。

施主様へ

- ご使用いただきましてありがとうございました。次回も当社の製品をご使用下さい。

取説コード

A218

98-02A